

豊島

清掃工場 廃プラスチックのサーマルリサイクルの説明会を開催しました

豊島区では、廃プラスチックのサーマルリサイクルのモデル事業が、7月から2地域で始まっています。これに先立ち、区内施設や豊島工場で地域説明会を開催しました。説明会では、豊島区清掃環境部から分別区分の変更などについて、豊島工場から環境管理の状況と実証確認について説明しました。10月からは、モデル事業の実施地域が拡大されますが、今後も区と連携・協力し、区民の理解を求めていきます。



パワーポイントを使っでの説明

板橋

清掃工場 今年も集団献血を実施しました

板橋工場では、毎年、定期点検補修工事の時期を利用して、社会貢献と職員の健康管理を目的に、集団献血を行っています。今年も、8月23日に実施しました。当日は、猛暑が続いた影響か、申込者が昨年を下回りました。それでも周辺住民や板橋東清掃事務所、光が丘工場、板橋工場関係者の協力により、合計11,000ml(牛乳びん55本分)の血液を提供できました。地域に定着する事業として、来年も実施します。



工場入口の献血の看板とのぼり

練馬

清掃工場 廃プラスチックのサーマルリサイクルの住民説明会を実施しました

廃プラスチックのサーマルリサイクルの実施に向けて、練馬区では、10月から新たな分別区分によるモデル収集を開始します。区との連携・協力のもと、これに先立つ住民説明会に、工場長をはじめ技術職員が説明者として出席しました。平日の夜間と土曜・日曜の昼間に開催された説明会では、熱心な質問が飛び交いました。練馬工場では、今月から実証確認に向けた準備に入ります。

今夏、立派なひまわりが咲きました
(後ろは、練馬工場の煙突)



光が丘

清掃工場 煙突改修工事を行います

光が丘工場では、7月から来年2月までの間、煙突の改修工事を行います。この工事は、煙突内部のライニング部分(腐食等を防ぐ材料を張り付けた部分)に、アスベストが含まれていることが判明したため、実施するものです。現状でもアスベストが飛散する恐れはありませんが、より安全を期するため、煙突の内側に新たにステンレス製の内筒を設置し、アスベストが含まれている箇所を囲い込みます。現在、タワークレーンを設置する基礎工事が進んでいます。



今月にはタワークレーンが立ち上がります